



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月13日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL <https://www.shirohato.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 池上 勝
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長 (氏名) 池上 正 (TEL) 075-693-4609
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の業績 (2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	4,604	10.5	△37	—	△60	—	△32	—
2021年2月期第3四半期	4,165	4.9	△121	—	△151	—	△147	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期第3四半期	△4.92		—					
2021年2月期第3四半期	△22.09		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	7,492	2,326	31.1
2021年2月期	7,234	2,359	32.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 2,326百万円 2021年2月期 2,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	8.9	△110	—	△140	—	△145	—	△21.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルスの感染拡大が業績にあたる影響は、現時点において合理的に算定することが困難であるため、上記計画には織り込んでおりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年2月期3Q	6,669,700株	2021年2月期	6,669,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年2月期3Q	13,738株	2021年2月期	13,738株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期3Q	6,655,962株	2021年2月期3Q	6,655,963株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられます。先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されますが、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要があります。

当社が所属するEC業界では、総務省が2021年12月に発表した家計消費状況調査（二人以上の世帯）2021年10月分調査結果によると、ネットショッピングの支出額は、19,247円と前年同月比1,371円増と、ネットショッピングの支出額は増加傾向にあります。

このような経営環境のもと、当社の国内販売においてPayPayモールは、クーポン等による集客施策や、商品広告の効果が大きく当第3四半期累計期間計画比113.8%、前年同期比126.4%、Amazonについては取扱商品を増やし、広告を最適化したことによって、当第3四半期累計期間計画比118.4%、前年同期比130.1%と計画及び前年を超えて売上を伸ばすことができました。しかしながら懸念していた、新型コロナウイルス感染症による影響でナショナルブランドメーカーの海外生産商品の納期が大幅に遅延し、販売の延期や商品のキャンセルを余儀なくされた影響が大きかった、楽天市場等の一部モール及び本店においては、当第3四半期累計期間の前年同期比は超えることができませんでしたが、計画については下回る結果となりました。

また、競合他社との差別化を図るためブルーミングスタイル事業部、ラヴィアドゥ事業部による自社商品（PB商品）の積極的な開発と販売を引き続き継続し、当第3四半期累計期間では、全体売上に対するPBCB比率は26.3%と、前期末23.7%に比べ2.6%拡大しました。特に2020年9月よりスタートしたPB商品の「HIMICO」が前年同期比で249%と好調に推移いたしました。

この結果、第3四半期累計期間における売上高は4,604,856千円（前年同期比10.5%増）、営業損失は37,536千円（前年同期は121,318千円の営業損失）、経常損失は60,092千円（前年同期は151,472千円の経常損失）、四半期純損失は32,718千円（前年同期は147,016千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、7,492,425千円となり、前事業年度末と比較して257,891千円の増加となりました。

流動資産は2,768,869千円となり、前事業年度末と比較して380,989千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末より430,240千円増加）、売掛金の増加（前事業年度末より200,305千円増加）、商品の増加（前事業年度末より31,485千円増加）及び前事業年度末に本社物流センターの完成に伴い還付予定としていた消費税等が還付されたこと等によるその他の流動資産の減少（前事業年度末より281,940千円減少）によるものであります。

固定資産は4,723,555千円となり、前事業年度末と比較して123,098千円の減少となりました。その主な要因は、建物（純額）の減少（前事業年度より27,360千円減少）及び機械及び装置（純額）の減少（前事業年度末より83,094千円減少）であり、両者とも2020年8月に完成した本社物流センターの減価償却処理に伴う減少であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は5,166,004千円となり、前事業年度と比較して290,609千円の増加となりました。

流動負債は3,665,040千円となり、前事業年度末と比較して375,000千円の増加となりました。その主な要因は、

シーズン商品の仕入れに伴う買掛金の増加（前事業年度末より351,806千円増加）、未払消費税等の増加（前事業年度末より69,590千円増加）、電子記録債務の減少（前事業年度末より54,988千円減少）及び短期借入金の減少（前事業年度末より14,828千円減少）によるものであります。

固定負債は1,500,964千円となり、前事業年度末と比較して84,391千円の減少となりました。その主な要因は、シンジケートローンの約定返済に伴う長期借入金の減少（前事業年度末より56,250千円減少）及び2021年5月開催の株主総会にて退任した取締役及び監査役に対する役員退職慰労引当金の取崩し等による減少（前事業年度末より28,142千円減少）によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は2,326,420千円となり、前事業年度末と比較して32,718千円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末より32,718千円減少）によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年4月13日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	548,669	978,909
売掛金	243,863	444,169
商品	1,228,263	1,259,748
貯蔵品	32,946	24,401
前渡金	255	730
前払費用	16,034	29,038
未収入金	35,995	32,332
その他	282,387	447
貸倒引当金	△536	△910
流動資産合計	2,387,879	2,768,869
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,747,547	2,801,790
減価償却累計額	△248,291	△329,894
建物(純額)	2,499,256	2,471,895
構築物	66,632	66,632
減価償却累計額	△17,109	△20,730
構築物(純額)	49,523	45,901
機械及び装置	744,337	744,337
減価償却累計額	△71,529	△154,623
機械及び装置(純額)	672,808	589,714
工具、器具及び備品	106,172	106,172
減価償却累計額	△56,464	△67,004
工具、器具及び備品(純額)	49,708	39,168
土地	1,291,928	1,291,928
有形固定資産合計	4,563,224	4,438,608
無形固定資産		
商標権	—	2,590
ソフトウェア	42,248	36,020
無形固定資産合計	42,248	38,611
投資その他の資産		
保険積立金	224,501	230,589
出資金	810	810
従業員に対する長期貸付金	64	—
差入保証金	4,557	4,731
敷金	6,640	6,640
破産更生債権等	2,343	1,092
長期前払費用	4,392	3,465
貸倒引当金	△2,130	△992
投資その他の資産合計	241,180	246,336
固定資産合計	4,846,653	4,723,555
資産合計	7,234,533	7,492,425

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	36,448	28,663
電子記録債務	135,262	80,273
買掛金	127,212	479,018
短期借入金	2,614,828	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
前受金	6,050	6,050
前受収益	211	158
未払金	172,794	184,754
未払費用	56,397	92,396
未払法人税等	7,505	7,286
未払消費税等	—	69,590
預り金	9,986	4,632
賞与引当金	29,801	14,656
返品調整引当金	351	935
ポイント引当金	15,248	19,009
その他	2,939	2,614
流動負債合計	3,290,039	3,665,040
固定負債		
長期借入金	1,387,500	1,331,250
役員退職慰労引当金	141,938	113,796
資産除去債務	847	856
繰延税金負債	69	61
その他	55,000	55,000
固定負債合計	1,585,355	1,500,964
負債合計	4,875,395	5,166,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,654	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,186,654	1,186,654
資本剰余金合計	1,186,654	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△25,581	△58,299
利益剰余金合計	△24,081	△56,799
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,359,138	2,326,420
純資産合計	2,359,138	2,326,420
負債純資産合計	7,234,533	7,492,425

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	4,165,520	4,604,856
売上原価	2,570,805	2,828,223
売上総利益	1,594,714	1,776,632
返品調整引当金繰入額	718	583
差引売上総利益	1,593,996	1,776,049
販売費及び一般管理費	1,715,314	1,813,585
営業損失(△)	△121,318	△37,536
営業外収益		
受取利息	14	8
受取配当金	33	17
為替差益	307	340
債務勘定整理益	958	1,057
協賛金収入	335	259
助成金収入	1,012	—
受取補償金	104	398
保育園運営収益	318	7,566
役員退職慰労引当金戻入額	—	19,156
雑収入	341	527
営業外収益合計	3,424	29,332
営業外費用		
支払利息	13,456	23,069
保育園運営費用	19,582	28,154
雑損失	538	664
営業外費用合計	33,578	51,888
経常損失(△)	△151,472	△60,092
特別利益		
雇用調整助成金	6,994	29,797
特別利益合計	6,994	29,797
特別損失		
固定資産除却損	116	—
特別損失合計	116	—
税引前四半期純損失(△)	△144,594	△30,295
法人税、住民税及び事業税	2,430	2,430
法人税等調整額	△7	△7
法人税等合計	2,422	2,422
四半期純損失(△)	△147,016	△32,718

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。